

2025 ベリトランスサーバー証明書更新

接続検証手順

~VeriTrans2G(コンビニ・ペイジー決済)~

Ver. 1.0 (2024年5月)

## 目次

1.	接続	検証の手順
1.	.1.	マーチャント様環境の準備
1.	.2.	検証環境への接続設定
1.	.3.	MDK ファイルの更新 (Java をご利用の場合)
1.	.4.	CA 証明書ストアファイルの更新 (PHP/Perl をご利用の場合)
1.	.5.	検証用取引の実行
1.	.6.	検証結果の確認
2.	通信	エラー時の対応について
2.	.1.	.NET をご利用の場合6
3.	本番	運用における注意点

#### 改定履歴

2024/5 : Ver1.0 リリース

# 1. 接続検証の手順

MDK を利用している全てのシステムで、接続検証を行って頂きますようお願いします。

検証を行って頂く際は、本番サーバーと同等スペックのマーチャント様環境から疎通確認を行って頂いたうえで、<u>最終確認</u>として本番環境からの接続検証を行って頂くことを推奨いたします。

## 1.1. マーチャント様環境の準備

マーチャント様が検証を行う環境は、本番サーバーと同等の環境のご用意をお願いいたします。

また、最終確認のために本番サーバーでの検証も行って頂きますようお願いします。

- ✓ OS、ミドルウェア、プログラミング言語環境のバージョン等が同一のサーバーをご用意ください。特に、SSL通信に関連 する設定が本番と同じであることをご確認ください。
- ✓ マーチャント様の検証サーバー環境では発生しなかった問題が、本番サーバーで発生する可能性もありますので、本番サーバーでも接続検証を実施してください。

### 1.2. 検証環境への接続設定

MDK 設定ファイルの接続先 URL を、ベリトランス検証環境の URL に変更してください。

下表に、各言語の設定ファイル名と変更箇所を示します。

開発言語	設定ファイル名	接続先 URL の変更	
Java	cvsgwlib.properties	変更前(本番環境 URL)	GW_HOSTS = https://pay2g.veritrans.co.jp:443/
.NET	cvslib.conf		TRUSTED_HOSTS = pay2g.veritrans.co.jp
PHP	cvsgwlib.conf	変更後(検証環境 URL)	GW_HOSTS = https://sandbox.pay2g.veritrans.co.jp:443/
Perl	cvsgwlib.conf		TRUSTED_HOSTS = sandbox.pay2g.veritrans.co.jp

### 1.3. MDK ファイルの更新(Java をご利用の場合)

MDK に含まれる jar ファイル (CVSGWLib.jar)を、以下のリンクよりダウンロードして更新してください。

https://www.veritrans.co.jp/trial/4g/2g\_CVSGWLib.zip

### 1.4. CA 証明書ストアファイルの更新(PHP/Perl をご利用の場合)

注) 次章の「1.5. 検証用取引の実行」でエラーが発生する場合、以下の対応を行ってください。

CA 証明書ストアファイル(vsign\_cli.cer)を、以下のリンクよりダウンロードして更新してください。

https://www.veritrans.co.jp/trial/4g/2g\_vsign\_cli.zip

ファイルのパスは、MDK 設定ファイルに以下のように指定されています。マーチャント様の環境により異なりますので、正しいパスをご確認ください。

開発言語	MDK 設定ファイル名	パス指定の例
PHP	cvsgwlib.conf	MDK_RESOURCE = /usr/local/vtcvsmdk/mdk/conf
Perl	cvsgwlib.conf	CERT_FILE = vsign_cli.cer

#### 1.5. 検証用取引の実行

ベリトランス検証環境に取引要求を送信してください。

- ✓ SSL 通信が成功することの確認が目的のため、取引要求の種類は問いません。
- ✓ 本番取引、ダミー取引のどちらの設定でも実行可能です。
  - ◇ ベリトランス検証環境は、本番取引が実行できるように設定しています。
  - ⇒ テストマーチャント設定で実行する場合は、以下の情報をご利用ください。

	テスト用マーチャント情報		
マーチャントシークレット	lwH3I8vg		
マーチャント認証鍵	624ba486abd4ba79320cbc89bef51e2b54a62eff		

※MDK 設定ファイルの設定方法は、各開発言語の開発ガイドを参照して下さい。

### 1.6. 検証結果の確認

取引要求がベリトランス検証環境に向けて送信されており、SSL通信が正常に行われたことをご確認ください。

- ✓ MDK のログに出力されている接続先 URL が、ベリトランス検証環境の URL であることをご確認下さい。
- ✓ 取引要求に対し、ベリトランス検証環境の決済サーバーからの応答が正常に受信できることをご確認下さい。
  - ♦ mstatus が「success」の場合は、SSL 通信が確立できているためテストは成功です。
  - ◆ mstatus が「success 以外」の場合、検証環境との接続に失敗している可能性があります。
    - ▶ 要求パラメータの問題によるエラーで決済サーバーからの結果を受信できている場合は、SSL 通信自体は成功していることが確認できますが、念のため mstatus が「success」になるように要求パラメータを調整のうえ、再実施をお願いします。
  - → 接続に失敗した場合は、MDK の出力ログをご確認のうえ、原因の調査をお願いいたします。「2 通信エラー 時の対応について」を併せてご参照ください。
  - ◆ OS やミドルウェアのログも合わせてご確認下さい。例えば、PHP の場合は WEB サーバ(apache のログ等) に何らかのエラーが出力されている場合がございます。

# 2. 通信エラー時の対応について

通信エラーが発生した場合、最初に以下の3点についてご確認ください。

- ✓ 検証環境に接続するためのシステム要件(TLS1.2 での通信)に対応しているか
- ✓ 下表に示すベリトランス検証環境との通信が、マーチャント様のネットワークで許可されているか

IP アドレス	ホスト名
210.239.44.145	sandbox.pay2g.veritrans.co.jp

✓ 「1.2 検証環境への接続設定」「1.4 CA 証明書ストアファイルの更新(PHP/Perl をご利用の場合)」に記載のとおりに正しく設定を行っているか。

エラーの原因が分からない場合は、MDK ログと以下に示す情報を添えて、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

- ✓ プログラミング言語のバージョン
- ✓ サーバーの OS バージョン
- ✓ PHP、Perl をご利用の場合は、OpenSSL のバージョン

なお、.NETをご利用の場合は、ご利用のWindows サーバーに、ベリトランスサーバー証明書のルート証明書がインストールされていない可能性がございますので、次の内容を併せてご確認ください。

### 2.1. .NET をご利用の場合

Windows のルート証明書ストアに、以下のルート証明書が格納されていない場合は、WindowsUpdate を行っていただくか、手動でインポートして下さい。適切に Windows Update が実施されている場合、手動でのインポートは通常は不要です。

▶ ルート証明書(DigiCert Global Root G2)のダウンロード URL

https://cacerts.digicert.com/DigiCertGlobalRootG2.crt

ルート証明書のインポートの後、以下の URL にブラウザからアクセスし、「DigiCert」のページが表示されればインポートは成功です。

https://global-root-g2.chain-demos.digicert.com/

# 3. 本番運用における注意点

接続検証完了後の本番運用におかれましては、以下の点にご注意ください。

- ✓ 「1.2 検証環境への接続設定」で実施した設定変更は、必ず元に戻してください。 また、本番サーバーでテスト用マーチャントやダミー取引の設定で検証を実施した場合は、必ず本番設定に戻してください。
- ✓ 1.2 以外のシステム変更につきましては、本番環境にも適用が必要です。
  - ▶ 本番サーバーで検証を行った場合は、接続先 URL 以外はそのままの設定で本番運用を行ってください。
  - ▶ 本番サーバーで検証を行わなかった場合は、接続先 URL 変更以外のシステム変更について、必ず本番サーバーにも適用してください。
    - ◆ 「1.4 CA 証明書ストアファイルの更新(PHP/Perl をご利用の場合)」は必ず本番サーバーに適用してください。